

人と人をつなぐ

会葬

礼状

家族や近親者のみで営まれることも多い、昨今の葬儀。「会葬礼状」の新たな役割に注目してみませんか。

今、注目を集める
オリジナルの会葬礼状

葬儀での弔辞や挨拶に胸を打たれた経験はありませんか。家族や友人が語る、飾らない言葉の中に、故人への追悼の念が込み上げます。そうした挨拶と同様に、家族が会葬者へ贈る「会葬礼状」も思いを伝える大切なものです。会葬礼状は、故人や喪主の名前、会葬への感謝などを伝えるものが一般的ですが、昨今は、故人の在りし日の姿や家族の思いをつづったオリジナルの会葬礼状が注目を集めています。その背景について、清月記の西村恒吉さんにお話を伺いました。

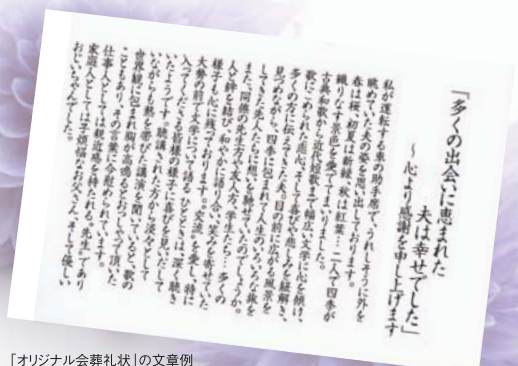
オーダーメイドだから
伝わる家族の思い

オリジナルの会葬礼状は、葬儀を営む家族に合わせ、オーダーメイドで制作するもので、全国的

故人に関する聞き取りが「グリーンフサポート」の役割も

読む人に家族の思いを伝える「オリジナル会葬礼状」。サービスを利用したお客さまから「会葬いただいた方から『あの礼状、あなたが書いたの？』心がこもって書いてとてもすてきだった」と言われ、おかげで良い葬儀ができました」などの感謝の声が寄せられることもあります。「もちろん、お客さまの中には感情的な文面を好まない方もいらっしゃいます。その場合は、従来の文章に季節の挨拶を添えるなどしてお作りします」と西村さん。一方、礼状の制作過程で行われる故人に関する聞き取りが、家族にとっては悲しみの感情を整理する「グリーンフサポート」にもつながるといいます。超高齢化社会の日本では、亡くなる人の多くが80歳以上という現状があり、葬儀も家族や近親者のみで行うケースが増えています。西村さんは「葬儀に参列でき

なかつた方にとつても、オリジナル会葬礼状ならば生前の故人の様子や伝えられ、受け取る方も追悼できる。心に残る葬儀、手紙文化の端として続けていきたいです」と話します。人と人をつなぎ、気持ちのよりどころにもなる会葬礼状。その役割に注目してみてはいかがでしょうか。



「オリジナル会葬礼状」の文章例



「オリジナル会葬礼状」は写真やイラストなどをあしらったソフトなデザインで、種類も豊富。中面には文章のほか、故人の描いた絵を掲載したことも

取材協力
(株)清月記 一級葬祭ディレクター 業務部部长
西村 恒吉 (にしむら こうきち)さん
<https://www.seigetsuki.co.jp>